

神戸市会だより

2023年
12月
No.219

ホームページでは神戸市会の最新情報をご覧ください。

神戸市会 | 検索

広報紙KOBEより抜き出してお読みください。

令和4年度各会計決算を認定

令和5年第3回定例会市会が9月14日に開会しました。会期は12月8日までの86日間で、前半が9月議会、後半が11月議会となります。

9月議会では、令和4年度決算および関連議案を中心に審議を行いました。
(市長提出47件、議員提出4件、合計51件)

決算などの議案を審議 9月21・22日の本会議で、令和4年度決算および関連議案計24件について各会派の代表者が質疑しました。その後、決算特別委員会を設置し、局ごとにさまざまな観点から審査を行いました(主な内容は2~4面をご覧ください)。その結果、10月23日の本会議ですべて認定・可決しました。また、補正予算・条例改正などの議案も9月21日、10月23日の本会議で可決しました。

可決した主な議案

令和4年度決算 決算特別委員会委員長報告より

「行財政改革方針2025」に基づく取り組みなどにより、財源対策によることなく実質収支の黒字を確保したことを評価するとともに、経済社会情勢に伴う原油価格・物価高騰やポストコロナ時代の施策を見据えた財源確保など、財政状況がより一層厳しくなることが予測される中、まちの魅力と活力を高める施策を積極的に展開していくことを期待して、令和4年度神戸市各会計決算19件は認定し、関連議案5件は原案どおり承認することに決定しました。

令和5年度9月補正予算の概要

(主な内容)

- エネルギー・食料品などの価格高騰の影響を受ける市民や市内事業者への支援
 - ・ 学校給食における食材費高騰対策
 - ・ 児童福祉施設などへの運営支援
 - ・ 介護・障害福祉サービス施設などへの運営支援 など
- その他財政需要
 - ・ コロナワクチン接種体制の確保
 - ・ 斜面復旧工事
 - ・ こうべキエー口普及促進事業 など

議員提出議案

- 神戸市議会基本条例の一部を改正する条例
地方自治法の改正に伴い、神戸市会議員の請負の状況を公表するにあたり、条例を改正しました。
- 意見書の提出
次の意見書を可決し国に提出しました。
 - ・ 地方議会議員の厚生年金加入のための法整備を求める意見書
 - ・ ブラッドパッチ療法(硬膜外自家血注入療法)に対する適正な診療上の評価等を求める意見書

人事案件

長田区選挙管理委員補充員の選挙を行いました。また、神戸市監査委員、神戸市人事委員会委員および神戸市固定資産評価審査委員会委員の選任、神戸市教育委員会委員の任命に同意しました。

令和4年度決算に対する各会派の賛否一覧

○=賛成 ×=反対

件名	自	維	公	共	こ	つ	無 平野章	無 松本し	無 上原	無 村上	結果
一般会計/国民健康保険/水道	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	認定
市場/農業集落排水/市街地再開発/市営住宅/介護保険/後期高齢者医療/下水道/新都市整備/港湾/自動車/高速鉄道	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	認定
食肉センター/母子父子寡婦福祉資金貸付/駐車場/公債/工業用水道	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定

会派届出名の略称 自 自由民主党 維 日本維新の会 公 公明党 共 日本共産党 こ こうべ未来 つ つなぐ 無 無所属

2023年 第3回定例会市会

【9月議会】の動き

9月14日

- 開会
- 令和4年度決算に基づく健全化判断比率などの報告
- 会期決定
- 人事案件の提案・指名
- 令和5年度補正予算などの議案の提案
- 令和4年度決算および関連議案の提案

本会議

9月15日・19日

- 令和5年度補正予算などの議案および陳情の審査

常任委員会

9月21日・22日

- 人事案件の提案・採決
 - 令和5年度補正予算などの議案の採決
 - 令和4年度決算および関連議案に対する会派代表の質疑
- 2・3面でご紹介
- 決算特別委員会設置

本会議

9月25日~10月12日

- 令和4年度決算および関連議案の審査
- 4面でご紹介

決算特別委員会

10月16日

- 追加議案の提案
- 議員提出議案の提案・採決

本会議

10月17日・18日

- 追加議案および陳情の審査

常任委員会

10月23日

- 追加議案の採決
- 令和4年度決算および関連議案の討論・採決
- 議員提出議案の提案・討論・採決

本会議

10月24日

- 一般質問
- 4面でご紹介

本会議

11月議会は、2023年11月29日(水)から12月8日(金)まで開かれます。本会議および委員会は傍聴やインターネットでご覧いただけます。

本会議での各会派の代表質疑から

9月21日・22日の本会議では、令和4年度決算とそれに関連する議案について、市長・副市長などに質疑しました。

その主な内容をご紹介します。

(録画映像は神戸市会ホームページでご覧いただけます。→)

議員名(会派届出名の略称、選挙区)

9月21日



9月22日



神戸市会 中継 | 検索

職員の意欲向上と人材獲得に有効な表彰制度

— 9月22日の代表質疑から —

うえはら 上原 みなみ議員(無所属、北区)



- Q 職員個人の功績度が高い場合は、積極的に個人を表彰すべきではないか。また、神戸市役所では優秀な職員がきちんと評価されると認識してもらうためにも、表彰内容をホームページなどで紹介し、メディアにも取り上げられるよう工夫すべきではないか。
- A 個人として顕著な成果を上げた職員には表彰を行っていききたい。いきいきと働く職員の姿を発信することは、人材獲得の面でも大変重要なので、ホームページへの掲載について検討したい。

経済・観光

国際チャーター便誘致に向けた取り組み

— 9月21日の代表質疑から —

ひらい まちこ 平井 真千子議員(自由民主党、長田区)



- Q 神戸空港は2025年に国際チャーター便の就航が可能となる。限られた時間の中で国際チャーター便の誘致に向け、関係各局が課題や目指すべき方向性を共有し、全庁一丸となって強力に推進する必要があるが、どのような組織体制で取り組んでいるのか。
- A 国際チャーター便誘致をはじめ、インバウンド誘客やビジネス需要、空港の利便性向上などについて戦略的に取り組むため、副市長をトップとし、港湾局・企画調整局・経済観光局・都市局の4局で構成する「神戸空港国際化本部」という組織横断的な体制を構築して、誘致に向けた調査活動などに取り組んでいる。

神戸空港

— 9月21日の代表質疑から —

おおの ようへい 大野 陽平議員(自由民主党、東灘区)



- Q 2025年の国際チャーター便や発着枠が拡大する国内線の受け入れ、2030年ごろの国際定期便就航や、その先の航空需要の拡大を踏まえた今後の空港島のまちづくりを見据えると、新ターミナルの整備にあわせ空港利用者の利便性や回遊性を高めるため、新ターミナルと既存施設を結ぶ歩行者デッキの検討も行うべきではないか。
- A 神戸の玄関口にふさわしいにぎわいの創出、神戸ブランドの発信、海上空港ならではの眺望を生かした施設整備という観点から神戸空港島将来ビジョンの策定を進めている。利便性や回遊性の向上も重要であり歩行者デッキの検討も進める。

国際都市・神戸の展望

— 9月21日の代表質疑から —

おおい としひろ 大井 としひろ議員(日本維新の会、須磨区)



- Q 神戸空港は、2030年ごろに国際定期便の運用開始が予定されており、今後、国際都市・神戸の玄関口としての役割が期待されている。空港の国際化を控え、国際都市・神戸の展望をどのように考えているのか、見解を伺いたい。
- A 多くの外国人がダイレクトに神戸を訪れることとなるので、ビジネス需要とインバウンド需要をしっかりと捉え、市内経済に波及させながら、国際都市・神戸の価値を一層高めていく必要がある。世界から優れた人材が集まり、異なるバックグラウンドをもつ人々の交流を促進することで、新たな価値を創造する都市へと進化させていきたい。

行 財 政

効果的な広報と効果の検証

— 9月21日の代表質疑から —

つじ やすひろ議員(日本維新の会、東灘区)



- Q 神戸市では各局がさまざまな動画を制作しているが、必要に応じて見直し、取りやめることが重要である。民間でできること・やっていることに市が取り組む意義があるのか。より効果的な広報になるよう、絶えず事業の効果検証を行い、ブラッシュアップしていくべきと考えるがどうか。
- A 動画はただ作ればいいというものではなく、その動画が再生されているかどうかを不断にチェックし、再生数の少ない動画については即、削除していく。こういう取り組みをしっかりと徹底して、費用対効果が上がるような動画作成を含めた戦略的広報に取り組んでいきたい。

金利による財政への影響

— 9月21日の代表質疑から —

かわくち 川口 まさる議員(日本維新の会、灘区)



- Q インフレへの対応が課題となる中、金利上昇による今後の財政負担や大型投資への影響、見通しについて見解を伺いたい。
- A 日本銀行は2022年12月と2023年7月に金融政策を修正し、10年国債の金利である長期金利の上限の引き上げを行った。今後も景気動向や物価水準などに応じ金融政策が修正される可能性は高く、不透明な金利情勢は続くものと認識している。今後の金利水準や投資の規模によっては、新規発行に係る金利負担が増える可能性はあるが、市場動向を注視し、適切なポートフォリオ※1を組みながら、引き続き安定かつ低利な資金調達に努めたい。

※1 ポートフォリオ…金融資産の組み合わせのこと。

将来の財政収支見通し

— 9月22日の代表質疑から —

あわはら とみお 富夫議員(つなぐ、中央区)



- Q 長期的な視点を持つという観点から現在公開されている5年間の財政収支見通しだけでなく、2029年度以降の見通しについても公表すべきと2023年2月の代表質疑で指摘したところ、2024年度予算編成に向けての検討課題とするとの回答であった。現在の検討状況はどうか。
- A 今後、社会保障費をはじめ、投資的経費や公債費は一定の増加が見込まれることから、現在、長期の試算方法について検討を進めているところである。長期的な収支見通しについては、2024年度予算案を提案する際に説明できるよう対応していきたいと考えている。

まち・くらし

空き家対策

— 9月21日の代表質疑から —

みぶ じゅん 壬生 潤議員(公明党、垂水区)



- Q 2023年内に施行される「空家等対策の推進に関する特別措置法の一部を改正する法律」では、特定空家等※1になる前の管理不全空家等※2に対する指導などや固定資産税特例解除により、早期対応を促している。指導などを迅速かつ適切に行うとともに、事前に広報すべきと考えるが見解を伺いたい。
- A 法改正の趣旨などについて早めの広報や個別のお知らせを行うとともに、国から示される管理指針などに従って、速やかに指導などを行い、管理不全空家等の発生抑制と自主改善を促したい。また、本市独自の先進的な政策の拡充なども含めて、空家空地対策を講じていきたい。

※1 特定空家等…「倒壊などの著しく保安上危険となる恐れがある状態」「著しく衛生上有害となる恐れがある状態」「著しく景観を損なっている状態」「放置することが不適切である状態」のいずれかに該当する空家等のこと。

※2 管理不全空家等…そのまま放置すれば特定空家等になるおそれのある空家等のこと。

王子公園再整備基本計画素案

— 9月22日の代表質疑から —

あじくち 味口 としゆき議員(日本共産党、灘区)



- Q 大学誘致のためどれだけの樹木が伐採されるのか懸念する市民の声が多い。また、王子動物園では動物福祉の向上を口実に、130種程度飼育している動物のうち60種を譲渡などで減らす計画になっている。将来に禍根を残すと思われる計画素案は撤回すべきではないか。
- A 基本計画には、桜をできるだけ保存、植栽する旨を掲げている。今後、計画を詳細に詰め、樹木の伐採本数など時期を見て発表する。動物に関しては、生物多様性保全に貢献し、動物園として持続できるよう、飼育する約120種を域外保全への貢献などから分類したもので、大学誘致との関係はない。

つじ やすひろ議員は2023年10月31日付で、「日本維新の会神戸市会議員団」を退会し、無所属になりました。

市立墓園のあり方

—9月22日の代表質疑から—

伊藤 めぐみ議員(こうべ未来、北区)



Q 少子化などにより市民の意識やニーズが変化
中、墓じまいや合葬墓など、今までのお墓の形
態にこだわらない方々に対して柔軟に対応する
必要がある。今後の市立墓園のあり方や方向性
などについて見解を伺いたい。

A 有識者会議の意見をふまえ、トイレ整備や園
内バスの乗り継ぎ案内などに取り組んでおり、
期限付き墓地の整備や葬儀などの生前契約の
支援(エンディングプラン・サポート)について
も2024年度予算で提案し取り組みたいと考
えている。お墓の形や墓参りの形態が多様化
する中でもセーフティネットとしての市立墓
園の役割を果たしていきたい。

神戸駅の再整備

—9月22日の代表質疑から—

村上 立真議員(無所属、兵庫区)



Q 2023年4月の神戸駅前広場の再整備デザ
インに関する市長会見では言及がなかったが、
神戸駅北側から湊川神社に向かう道路「神戸
停車場線」の歩行者空間としての活用につい
て、どのように考えているのか。

A 駅前広場と湊川神社との連続した眺望の実
現は重要だ。まずは現在の2車線を1車線化し
歩道を拡幅するなど、円滑な誘導を関係機関
と協議している。将来的には歩行者専用道路
化も検討し、駅周辺の回遊性向上に取り組
みたい。

健康・福祉

猫との共生

—9月21日の代表質疑から—

平井 真千子議員(自由民主党、長田区)



Q 市会の提案により「人と猫との共生に関
する条例」を制定し、地域猫活動をはじめ野
良猫対策に取り組んできたが、トラブルは絶
えない。動物愛護の観点も踏まえつつ、例
えば地域の掲示板など地域住民で情報を共
有できる媒体を活用して、正しい飼い方につ
いて一層の啓発を行うべきではないか。

A 餌やりマナーや室内飼育など猫の適正な
飼育方法をより多くの市民に周知するため、
地域のマナー啓発活動に使用できるような
啓発資材の作成のほか、ペットショップ、
動物病院、ペットフード販売店、自治会
掲示板へのポスターの掲出などにより、一
層の啓発に努めていく。

DXの取り組み

(ユニバーサルデザインマップ)

—9月21日の代表質疑から—

壬生 潤議員(公明党、垂水区)



Q 障がい者や高齢者にとって、バリアフリー
設備の有無などを調べることは、体力的にも
精神的にも大きな負担となる。公共施設に
限らず民間施設の情報もマッピングした、
誰もが使いやすいユニバーサルデザイン
マップを、Web上で提供してはどうか。

A バリアフリー設備の情報を得られやすく
する視点は重要であり、市の公共施設につ
いては、ホームページで公表している。民
間施設については、モデル事業として企
業と連携して提供している自治体もある。
本市でも、企業などを巻き込んだ形で民
間施設を含めたユニバーサルデザインマ
ップの取り組みを進めたい。

災害時要援護者の 個別避難計画

—9月21日の代表質疑から—

細谷 典功議員(公明党、垂水区)



Q 神戸市の個別避難計画※1の作成は、対象
者のうち、重症心身障害児者、24時間人工
呼吸器装着患者およびハザードエリア※2に
居住する要介護5の方を優先する方針とな
っている。しかし、ハザードエリアに居住
する要介護5の方の計画作成は進んでいな
いと聞いている。今後の取り組みについて
見解を伺いたい。

A 2021年度から神戸市ケアマネジャー連
絡会と協議などを行い、2022年度にはモ
デル実施を通じて、計画の様式や実施方法
などを検討してきた。2023年度から本
格的な計画作成に着手したところであり、
スピード感を持って進めていきたい。

※1 個別避難計画…要援護者に対して、避難
支援などに必要な事項を個別に策定し、
市や関係者間で共有するもの。

※2 ハザードエリア…津波、高潮、出水など
による危険の著しい区域として指定され
た区域。

済生会兵庫県病院と 三田市民病院の統合

—9月22日の代表質疑から—

朝倉 えつ子議員(日本共産党、北区)



Q 三田市長選挙では、統合再編を進めて
きた前市長が市民の厳しい審判を受け落選
し、「統合の白紙撤回」を選挙公約に掲げた
新市長が誕生した。北神地域の住民からは
「病院が遠くなれば通えなくなる」と反
対する声が多く上がっている。市長は民
意を尊重し、統合をやめるべきではないか。

A 両病院を再編統合し中間地点に整備する
ことで、北神・三田地域の急性期医療の充
実を目指すこととなり、連携協約締結に
向け三田市と協議を進めてきたが、三
田市長選挙の結果を受けて協議が滞って
いる。ボールは三田市側にあり、早期に
考え方を示しいただきたいと考えている。

おひとりさまへの対策

—9月22日の代表質疑から—

よこはた 和幸議員(こうべ未来、中央区)



Q 65歳以上の一人暮らしのおひとりさま
は神戸市でも101,752人と増加傾向にあ
る。社会的に孤立しやすく、ひきこもり
にもつながっており、頼る方のない状況
にさまざまな不安を抱えている。対策を
パッケージとして打ち出して、より踏み
込んだ支援をすべきではないか。

A 急病への備えや見守りなど、一人暮らし
の高齢者に向けたさまざまな政策を実施
しているが、各局がそれぞれ政策を展開
しているため、パッケージとして提供す
る必要があると考えている。政策のまと
め方や市民への伝え方について検討を
行い、パッケージ化に向けた取り組みを
進めていきたい。

教育・子ども

要支援家庭への対策

—9月21日の代表質疑から—

山口 由美議員(自由民主党、西区)



Q 区役所や児童相談所など現場を持つ基礎
自治体としての強みを生かし、要支援家庭
の中でも、特に障害などにより意見をう
まく発信できない人たちの支援につい
て、これまで以上に「子ども・子育て世
帯を誰一人取り残さない」という姿勢で、
課題の把握やアウトリーチの支援※1を行
うべきではないか。

A 本市では、これまででも障害を持つ親を
含む要支援家庭の早期発見、課題把握に
努めてきたが、問題があっても自ら発信
することが難しい家庭の状況をふまえ、
当該世帯に関わる関係機関とも密に連
携し、アプローチの機会を増やすなど、
切れ目のない支援につなげていきたい。

※1 アウトリーチの支援…公共機関などが
積極的に働きかけ、支援を届けること。

児童虐待事案に関する対策

—9月21日の代表質疑から—

大井 としひろ議員(日本維新の会、須磨区)



Q 兵庫県は先日、児童相談所と警察がリアル
タイムで児童虐待に関する情報を共有で
きるシステムを構築すると発表した。神戸
市では月1回警察と情報共有をしている
が、児童虐待対策には、兵庫県同様に
リアルタイムでの情報共有が必要ではな
いか。

A 兵庫県が2024年秋ごろを目途に構築
することを発表したシステムは、本市も
参加可能となる見込み。警察との緊密な
連携、情報共有は非常に重要であり、今
後兵庫県のシステム参加に向け、情報
の共有範囲や導入費用などについて兵
庫県との状況も聞きながら、課題など
を整理した上で検討を進めていきたい。

GIGAスクール構想における 学習用パソコンの活用

—9月22日の代表質疑から—

平野 章三議員(無所属、垂水区)



Q 教育委員会事務局は教科書に準拠してい
ない不具合の多いデジタルドリルの検証
もせず、活用減少は学校の努力不足で、
活用率を上げるためとしかログインせよ
と指示した。ニーズに合わないデジタル
ドリルは解約すべき。

A 学習用パソコンの活用割合が小・中
学校とも2022年度より下がり、全国
平均も下回っている結果で深刻な問
題。全校にアンケート調査をし改善に
向け全力で取り組んでおり、現場の
意見もよく聞いた上で対応したい。

神戸市会の情報サイト「神戸市会ナビ」をオープンしました

こちらから



神戸市会の役割や市会議員の議会活動について、わかりやすく紹介しています。

決算特別委員会の質疑から

神戸市会 中継 | 検索

10月10日



決算特別委員会

議員62名で構成。

- 委員長 **高瀬勝也**
- 副委員長 **五島大亮**
- つじやすひろ**
- あじくち 味口としゆき**

決算特別委員会では、令和4年度決算および関連議案について審査しました。委員会は、9月22日に設置され、9月25日から3つの分科会で局ごとに審査した後、10月10日には総括質疑を、10月23日の本会議では市長に対して要望を行いました。(録画映像は神戸市会ホームページでご覧いただけます。→) 議員名(会派届出名の略称、選挙区)

ウォーターフロントエリアの再開発

—10月10日の決算特別委員会から—

やました **山下 てんせい**議員(自由民主党、西区)



- Q 再開発が進むウォーターフロントエリアにぎわいを生み出すためには、大型客船からポートターミナルに降り立った観光客が空き時間を使い、ポートオアシスを通り、ポートミュージアムまで周遊できる歩行者動線を整備すべきではないか。
- A 歩道橋の整備を行い、KIIITO周辺の歩道を含めた魅力的で歩きやすい歩行者空間の整備について検討を進めていく。既存の建物や歩行者空間の魅力的なライトアップも合わせて取り組みたい。

区役所の強化と地域ニーズに合った取り組み

—10月10日の決算特別委員会から—

みき **三木 しんじろう**議員(日本維新の会、中央区)



- Q 各区で良い競争が生まれ、地域ニーズに合った新たな取り組みにチャレンジできるよう、各区に配分する予算を増やし、区長の権限を広げ地域に合った取り組みを行うべきではないか。
- A 予算確保や区長権限のあり方は今後も現場の声を聴きながら検討していきたい。一方で、多様化・複雑化する地域課題に対し、本庁と区役所が役割分担・連携することが重要であり、区役所と本庁が同じ方向性の下、地域の個性を活かしたさらなる市民サービスの向上に努めたい。

人と猫が共生する社会の実現

—10月10日の決算特別委員会から—

かどた **門田 まゆみ**議員(公明党、須磨区)



- Q 堅調に増加しているふるさと納税の動物愛護事業を活用し、地域猫の捕獲器の購入や動物愛護フェスの再開、動物共生センターなどにおける業務の増大に対応する人員確保など積極的な事業展開を図るべきではないか。
- A こうべ動物共生センターで、より積極的な事業展開を図っていくため、体験型プログラムの強化や動物愛護のためのイベント実施などを2024年度早々に実施していきたい。猫の捕獲器と捕獲用餌の購入についても早急に対応していく。

人口減少対策としての若年層の実質所得の引き上げ

—10月10日の決算特別委員会から—

おお **大かわら 鈴子**議員(日本共産党、兵庫区)



- Q 学校給食や市立大学授業料の無償化、会計年度任用職員の正規化を求めても、従来の施策の枠を出ない答弁のみで、市長が言う「あらゆるセクションが賃金引き上げに強い決意で臨む」との姿勢からは程遠いのではないか。
- A 産業振興や消費喚起により市民所得向上を目指すとともに、国の動きと連携しながら、切れ目のない子育て支援などさまざまな切り口で、若年世代の可処分所得の改善、経済的負担軽減に向け一つ一つ丁寧に課題を分析しつつ取り組んでいく。

空き家・空き地対策

—10月10日の決算特別委員会から—

かわうち **川内 清尚**議員(こうべ未来、垂水区)



- Q 空き家・空き地の適切な管理は所有者の責務であるが、課題の解決には市の果たすべき役割も重要と考える。所有者に対し何らかの後押しを行うことを検討しているということだが、どのような後押しが考えられるか伺いたい。
- A 行政として所有者に対する指導・支援などを実施するとともに、新たに本市が連携する民間事業者のサービスなどを情報提供することで、管理不全の空き家・空き地の活用による自主改善を積極的に後押ししていきたい。

質疑した他の議員

かがわ **香川 真二**議員(つなぐ、西区)

ひらの **平野 章三**議員(無所属、垂水区)

うえはら **上原 みなみ**議員(無所属、北区)

むらかみ **村上 立真**議員(無所属、兵庫区)

一般質問

議員がそれぞれの立場・観点から、市政一般について市長・副市長などに質問しました。

(録画映像は神戸市会ホームページでご覧いただけます。→) 議員名(会派届出名の略称、選挙区)



ごとう **五島 大亮**議員(自由民主党、北区)

- あるべき学校教育
- 市役所職員のスポーツ活動を推奨する取り組み
- 戦略的な人口減少対策
- 広域行政の積極的な展開
- 水素産業の振興
- 神戸電鉄線・神戸高速線の利便性向上

ひらの **平野 達司**議員(自由民主党、兵庫区)

- 市場・商店街の活性化
- 産学連携による地域の課題解決
- 子育て世帯が地域とつながる取り組み

すみもと **住本 かずのり**議員(日本維新の会、須磨区)

- 狭あい道路対策
- 再犯防止施策
- 探究学習
- 須磨多間線の安全対策

さとう **さとう まちこ**議員(日本維新の会、垂水区)

- 女性活躍推進などに取り組む企業の支援
- 不登校特例校
- 外国語大学のリカレント教育
- 三宮地下道の活用
- 舞子エリアの活性化

みやた **宮田 公子**議員(公明党、西区)

- 民生委員のなり手不足
- 低出生体重児の就学猶予
- 未就学の障がい児や医療的ケア児の育ち
- 高齢者や障がい者の居住支援

もりた **森田 たき子**議員(日本共産党、西区)

- 学童保育の過密解消
- 西区で検出された基準値を超える有機フッ素化合物(PFAS)対策
- 農業振興の強化

かじ **かじ 幸夫**議員(こうべ未来、西区)

- 地域公共交通
- 地域福祉センター
- 市立学校園における清掃業務